本を ひらけば

図書便り
11 月号

西東京市立
田無第四中学校

「目」にも「耳」にも「身体」にも、「お腹」にも「こころ」にも、秋は豊かさを運んできてくれますね。
皆さんはどのように「秋」を楽しんでいますか？
図書館には、秋をより深めてくれる本が、沢山揃っていますよ！本との出会いをきっかけに、新しいことにチャレンジするのも良いかもしれませんね。

★読書週間 10/27～11/ 9



期間中だけでなく、読書に最適なこの時期に、たくさんの本を読んでみましょう！



11 月生まれです！



1850-1894

小説家、詩人、エッセイスト。代表作に、冒険小説「宝島」、「ジキル博士とハイド氏」がある。

イギリス北部のスコットランドに生まれるが、生まれつき病弱で、取材で訪れた南太平洋の島々が気に入り、自分の健康にも気候が適していると考えて移住をする。

島での彼は「語り部」として島民から親しまれたそうです。

（1850 年 11 月 13 日生まれ）

今月のおすすめ本

『デトロイト美術館の軌跡』

原田　マハ：作　913　ハ

市の財政困難を乗り切るため、コレクションの売却の危機が迫っていた美術館。コレクションは単なる高額な美術品ではなく、「友だち」であると感じていた一人の市民が、大切な思い出を守るためにある行動に出る。実話を基に描かれた感動の物語。高校受験の問題にも出題されたことがある作品です。

『パルティータを鳴らすまで』

せやま　南天：作　913　セ

自分の本当の気持ちに蓋をするように生きるしかなかった中学2年生の主人公。音楽と周囲の人たちとの繋がりが、大きな一歩を踏み出す勇気をくれた。期限付きの家族だけれど、精一杯愛すること、愛されることの大切さを教えてくれる一冊です。

『10 人のお坊さんにきいてみた』

講談社：編　184　ジ

お坊さんのお話＜説法＞に耳を傾けてみませんか。「みんなのモヤモヤ」についてお坊さんが話してくれます。心がすっきりする言葉が見つかるかもしれませんよ！



図書館からのお願い

先月はインフルエンザが猛威を振るっていました。これからの季節は感染症も流行りやすくなります。図書館の本は皆で楽しむものです。手を洗うなどして、清潔に取り扱えるとよいですね。